

企画書シート一覧(抜粋)

		DV	災害	差別(人権)	ワークライフバランス	貧困	介護
大テーマ		DVのない社会を目指す	防災女子	アイヌ女性の人権 ～全ての人にエンパワメントを～	ワークライフバランス(WLB)	子どもの貧困(貧困の連鎖)	「男も女も輝けるこれからの高齢社会を考えよう」 (男にあなた、女にわたしのふりがなをつける) ※若い方の参加を促すサブタイトルを付けるが現在未定
内容	タイトル	若年層へのDV啓発の重要性について	心優しい 行動する防災女子を目指して!	アイヌ女性の過去と現状に学ぶ ～マイノリティ女性への複合差別～	もし、中小企業の経営者がワークライフバランスに目覚めたら【仮題】	子どもたちが語る貧困、今何が必要か?	シニア世代の生き方
	講師等	講師 八幡 悦子さん(ハーティ仙台) コーディネーター、シンポジスト等 DV被害者支援等の活動をしている現役女子大生 ほか道内DV被害者支援活動をしている関係者数名	コーディネーター 定池祐季さん(東京大学大学院情報学環 総合防災情報研究センター 特任教授) パネリスト (※それぞれの分野で提案。スケジュール等により随時変更・調整するが3名を予定。) <防災女子> 神戸学院大学学生 <心のケア> 植苗病院 高塚 望 医師 (東日本大震災 派遣) <事前の備え> 堀 桃さん (乾物マエストロ・防災食料理教室) 渋谷真希さん (整理収納コンサルタント) <地元出身> 町内会の女性防災担当者	本田優子(札幌大学副学長) 多原良子(北海道ウタリ協会札幌支部事務局次長) 村木美幸(アイヌ民族博物館専務理事) 阿部千里(アイヌ・先住民族電影社代表)	講師兼コーディネーター 名古屋大学大学院 教授 金井篤子さん パネリスト 両立支援推進企業表彰企業(1社) あつたかファミリー応援企業(1社) 社会実験参加企業またはコンサル担当(1社)	コーディネーター 北海道大学大学院教育学研究院教授 松本伊智朗氏 ストーリーテラー(語り部) 「あすのば」学生(約2名) パネリスト 地元で支援活動する団体員等、市民、 自治体職員	講師 松本すみ子 コーディネーター等 松本すみ子 シンポジスト 市外から1名、市内から3名
	内容	・八幡悦子さん講演 ・デートDVプログラム発表(高校演劇部の方などに参加してもらう) ・DV被害者支援等の活動している関係者によるシンポジウム	・事前の備え ・避難所 ・心のケア	基調講演(本田優子氏) その後、シンポジウム形式で開催	基調講演(50分) パネルディスカッション(40分) 質疑応答(15分)	コーディネーター進行により、インタビュー方式でストーリーテラーに体験を語っていただく。 その内容を踏まえ、各方面のパネリストから活動の現状説明と意見交換、解決策の協議を行い、最後にコーディネーターによりとりまとめる	講演 1時間 シンポジウム 1時間 コーディネーターは引き続き松本氏に依頼。 パネリスト4名の自己紹介を各8分 コーディネーターとのやり取りを経て最後5分ほどでまとめる
形態	会議の方法	講演会+シンポジウム	シンポジウム	シンポジウム(基調講演有り)	シンポジウム	シンポジウム 6人から9人程度(シンポジストで増減)	講演会+シンポジウム
	人数	200人程度	約200人	100人～	最大200人		300人
	会場		市民会館小ホール	苫小牧市美術博物館(研修室AB) ※現在、仮押さえ中	上記人数をシアター形式で収容できる場所		アイビープラザ
概算経費	謝礼等			謝礼180,000円 旅費 22,220円	謝礼 220,000円 旅費 80,000円		謝礼450,000円 旅費101,160円
	その他			打合せ旅費 92,880円 美術博物館観覧料 33,000円	内容 50,000円(消耗品・講師等飲食費等)		概算経費内訳 ・講師謝礼(講演依頼会社の手数料含む) 430,000円 ・パネラー謝礼5000円×4名 20,000円 ・講師等旅費(最大) 100,260円 航空機往復98000円 千歳空港から苫小牧往復JR 1360円 ・パネラー旅費(白老町) 900円 ※千歳空港から当市までJR運賃としたが 実際にはタクシー使用時は実費となる旨説明あり ※講師に同行者有の場合は旅費が倍となる ※開催時間により前後泊有となる場合がある。 その際の費用は要相談(講演依頼先に確認)

企画書シート一覧(抜粋)

テーマ会議実施回数	3	4	2	3	4	4
-----------	---	---	---	---	---	---

企画書シート一覧(抜粋)

		平和	労働(ダイバーシティ)	教育	健康	男女平等参画	つながろう夢は必ずかなう
大テーマ		平和	ダイバーシティから考える障害者雇用	今、個性を認め、一人一人が輝く未来を考えよう	健康	男女平等参画	つながろう 夢は必ずかなう
内容	タイトル	女性から語り始める平和と未来	講師と協議	「子どもたちの夢をつなぐ 未来へのミッション」	まだ間に合う! みんな笑顔でいきいきライフ【仮題】	明るく楽しいとまこまい男女(ひと)づくり ～互いが認め合う平等社会の実現を目指して～	つながろう 夢は必ずかなう
	講師等	コーディネーター 清末愛砂(室蘭工業大学准教授) シンポジスト パキスタンの高校生(2名及び引率者1名) 沖縄の高校生(2名及び引率者1名) 苫小牧地域の高校生(2名及び引率者1名)	講師 西村 公子 (株エフピコ) コーディネーター 西村 公子 パネリスト 4名	○コーディネーター 候補1: 植松努(株式会社植松電機 専務取締役) 候補2: 大平まゆみ(札幌交響楽団コンサートマスター) ○パネラー(3~4名) ※人数は時間に応じて決定する ・苫小牧出身のスポーツ選手 ・市内の特色のある教育実践者 ・市内の小中学校の校長、教頭 ・市内の医師や獣医師等	講師 丸山 淳士(社会医療法人孝仁会理事) 高田 佳子(日本笑いヨガ協会代表) コーディネーター 桜井 宏(HBC北海道放送アナウンサー)	コーディネーター 1名 シンポジスト 3名程度	コーディネーター 国立女性教育会館職員 ファシリテーター 参加者から選定
	内容	コーディネーターのリードのもと、参加した高校生が、いま一番実現したい願い、どんなことに一番不自由を感じているのか、幸せを感じる瞬間はどんなときか、どんな未来をつくってきたいのか、社会と自分はどう関わっていききたいのかなどを発言し、参加者とも交流する。	ダイバーシティ経営企業100選に選定された株エフピコの講演会と経営者、女性の労働者などをパネリストに迎え、ダイバーシティについて考えていく。	○パネラー3~4名によるディスカッション ○苫小牧市で育った方、苫小牧で活躍している女性を中心に ○苫小牧の現場の姿を発信していく	丸山淳士 講演 60分 高田佳子 講演 30分 丸山・高田・桜井のトークセッション30分	シンポジウム形式 90~120分	都市宣言を目指して「協働のまちづくり」に取り組んできた経過を、市民団体・企業・行政それぞれのパネラーが発表。ファシリテーターを中心にワークショップを行い、発表された意見をコーディネーターが総括して締める。
形態	会議の方法	シンポジウム	基調講演+パネルディスカッション	パネルディスカッション	講演会+トークセッション	シンポジウム(全体会)	ワークショップ
	人数	シンポジスト以外に傍聴者(合計30~100名)	約300人	50人から200人	500人	2,000人	200人
	会場	シンポジウムとして口の字型に座席を配置でき、周囲に傍聴席を配置できる場所	アイビープラザが市民活動センター1階		文化会館(ホール)	市民会館大ホール	市民会館小ホール
概算経費	謝礼等	謝礼 コーディネータ(旅費込・事前学習分込)40,000円 シンポジスト(パキスタン・沖縄・近郊)350,000円 旅費 シンポジスト(パキスタン・沖縄・近郊)1,060,000円	謝礼45,000円 旅費東京往復分				
	その他	通訳 50,000円・会議室 50,000円					お土産のような形

企画書シート一覧(抜粋)

テーマ会議実施回数	4	4	3	4	4	3
-----------	---	---	---	---	---	---